

専大校友を訪ねて



©SUNROCKERS SHIBUYA

プロバスケット・Bリーグ SR渋谷ヘッドコーチ 伊佐 勉さん (平4経済)

プロアマの垣根を超えてバスケットボール日本一を競う天皇杯。サンロックス渋谷のヘッドコーチに就任して1年あまりで、チームを令和最初の天皇杯王者に導いた。自らを「努力型」と評する指揮官は、何事にも全力で取り組み、我が道を切り開いてきた。

専大バスケット部では1年次からベンチ入りし、ポイントガードとしてプレー。新人戦ではアシスト王に輝くも、リーグ戦では14連敗を喫し、2部降格の悔しさを味わった。大学時代の一番の思い出は、3年次に臨んだ1部との入れ替え戦。「気持ち一つにしてチーム全員で昇格をつかみ取った」とうれしそうに振り返る。4年次には主将を務め、持ち前のリーダーシップに磨きをかけた。卒業後は地元沖縄へ。クラブチームを立ち上げて運営に奔走する一方、選手兼監督としても活躍。全日本クラブ選手権

で優勝も果たした。転機となったのは現役を退いた2007年。その年に県内に誕生したプロチーム、琉球ゴールデンキングスで指導者の道を歩み始める。アシスタントコーチを経て13年にヘッドコーチに就任。Bリーグ創設前のbjリーグで、4年の間に2度のリーグ優勝をチームにもたらした。

努力と挑戦を重ね 日本一の指揮官に

17年、新たな挑戦の場を求めて新天地へ。数あるオファーの中から選んだのは、Bリーグで戦うSR渋谷。「チームの文化を一緒につくってほしい」という誘いに心動かされた。目指すのは、全員が高いプロ意識を持ち、限界まで戦い抜くチームづくり。皆が同じ方向を向き、正しいと信じて進むことが大事」と語る。そのために選手とコミュニケーションを密に取り、すべきプレーを明確に示すのが伊佐流コーチング術だ。取り組みの成果は今年1月、天皇杯優勝という形で実を結んだ。次なる目標はBリーグ初制覇。念願のリーグチャンピオンを目指し、伊佐さんの挑戦は続く。

伊佐さんの挑戦は続く。年齢も国籍も異なる多様な選手たちを率いる今、強く感じているのは人間関係構築の重要性だという。「大学では勉強や課外活動、友達付き合いなどを通じて人間力を高める」と在学中にエールを送る。



鳥取県知事 平井 伸治



「鬼追いしかの山、小鮒釣りしかの川」ゲゲの鬼太郎などのポツポツとオソラに散らばる観光地があり、大自然の鳥取県が全国一位に選ばれている。鳥取県出身の作曲家、岡野貞一の『ふるさと』は、皆さんも口ずさんだことがあるでしょう。鳥取県は、2019年には「外国人が訪れるべき日」の観光地ランキングで「とっとり・おかもま新橋」にお立ち寄りください。鳥取県は、人口56万人、自然に恵まれていますが、鳥取砂丘はその代表にも満たない日本一小さく、観光情報の提供、

今だからこそ、地方での暮らしを考えてみよう

鳥取県には、スタバな県ですが、だからこそ生活や仕事の相談なども行っています。専修大学は、やりたいことにチャレンジできます。「仕事中でも社会生活でも、若い時から活躍できる」ともできます。また、鳥取県の旬な話題や就職情報などを配信しています。鳥取市は「住みたふる」もぜひダウンロードしてください。

いつの日にか帰らん♪

【鳥取県立ハローワーク】 https://www.tori-hello-w.jp/ 【アンテナショップとっとり・おかもま新橋 移住・しごと相談コーナー】 ☎ 03-6280-6951

就職だより

4年次生へ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの企業の採用選考で「Web面接」が導入されています。キャリア形成支援課が発行している「専就Press」4月号には「Web面接の流れ」「場所選びのポイント」など、Web面接のポイントなどが詳しく記されています。Sinetの掲示板にも掲示してあります。参考してみてください。

3年次生へ

インターンシップへの参加には受け入れ先による選考が行われることがあり、履歴書やエントリーシートを記入する際に注意する必要があります。43項目を記載した「チェックリスト」を作成し、Sinetの掲示板に掲示してあります。記入前にぜひ確認してみてください。

2020年度育友会定期総会 招集開催行わず書面表決に

本年度の育友会定期総会は5月30日(土)に開催し、重要事項をご審議いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会員皆様の招集開催を行わず書面表決とさせていただきます。議案等の詳細は、会報『育友』161(春)号及び育友会ホームページをご覧ください。また、6月27日(土)開催の「神田キャンパス見学会」及び「就職懇談会」は延期となります。詳細が決まり次第、育友会ホームページ等でお知らせします。



『大学史紀要』第12号刊行

『専修大学史紀要』第12号が発刊された。本学大学史資料室編。講演録では、2019年5月に行われた日高義博理事長による「わが刑法学の旅路」を掲載。また、卓球の元世界チャンピオンである松崎キミ代

このほか、生田キャンパス9号館で開催された特別展示「新制専修大学の出発」の模様を口絵で紹介。生田キャンパス開設に関する資料も掲載している。

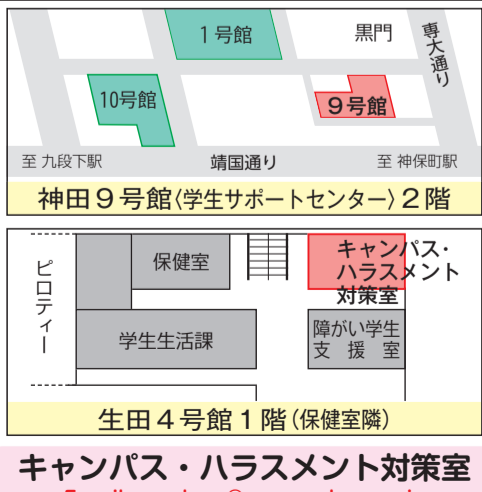
『大学史紀要』は希望者に配布する。

大学史資料室 ☎ 03・3265・5879

一人で悩まないで

キャンパス・ハラスメント(セクハラ・アカハラ・パワハラ)とは、優越的地位や職務上の地位を背景に、相手側の人格を傷つけるような言動により、不快感もしくは不利益を与え、または差別的に取り扱い、もしくは不利益な取り扱いをすることによって、相手側の尊厳や人権を損ない、教育、研究、学修および就労の環境を悪化させる行為をいいます。 本学では、ハラスメントの起こらないキャンパスを目指して「専修大学キャンパス・ハラスメント防止規程」が制定され、その中で「キャンパス・ハラスメント対策室」が設置され、その防止と被害者の救済に取り組んでいます。 第三に、より大切なことは、一人ひとりがハラスメントを受けないこと。ハラスメントを未然に防ぐためには、ハラスメント防止規程に基づき、ハラスメント防止対策を講ずることが重要です。 第一に、皆さんがキャンパス・ハラスメントだと感じる不快な言動を受け、深く心が傷つけられたことを、できるだけその場で相手方に明確に伝えましょう。 第二に、伝えただけでは別として、相手方の不快な言動の内容や起った日時・場所などをできるだけ詳しく記録しておきましょう。

ハラスメントの相談は対策室へ 専修大学では、あらゆるハラスメントに対応するため、キャンパス・ハラスメント対策室を設置しています。快適に勉学する環境を維持するため、キャンパス・ハラスメントの発生を未然に防ぎ、あわせて発生した場合に適切な措置を講じます。 キャンパス・ハラスメントには、性的な言動によるセクシュアル・ハラスメント、勉強・教育・研究に関連する言動によるアカデミック・ハラスメント、優越的地位や職務上の地位に基づく言動によるパワー・ハラスメント



キャンパス・ハラスメント対策室 E-mail camhara@acc.senshu-u.ac.jp